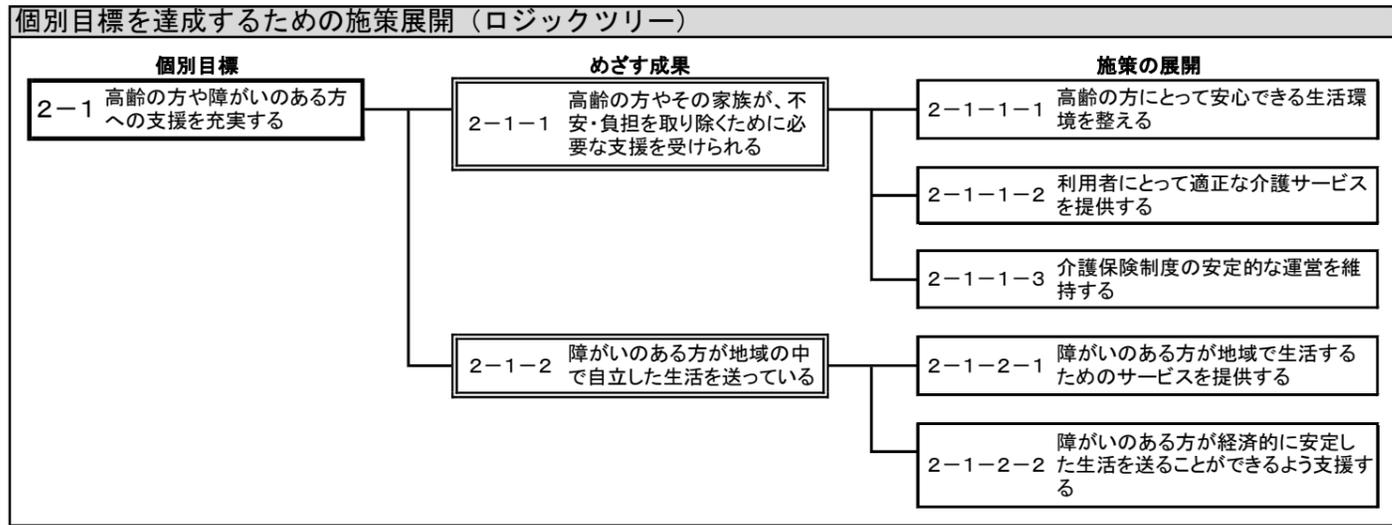


令和4年度 施策評価（二次評価）		
健康領域	人の健康	
基本目標	2	一人ひとりがささえの手を実感できるまち
個別目標	2-1	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する
	2-2	助け合い、共に生きる福祉のしくみづくりを推進する



成果を計る主な指標	前期基本計画期間（R1～R5年度）					
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	実績値（R3）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
■めざす成果2-1-1						
① 介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合	49.4%			56.3%	54.5%	56.5%
② 介護サービス利用者の満足度の割合	68.1%		68.5%		73.1%	75.1%
③ 認知症サポーターとなっている市民の割合	5.0%	7.0%	7.3%	8.2%	10.0%	13.0%
■めざす成果2-1-2						
① 障がい者の地域生活移行者数（累計）	0人	3人	4人	4人	15人	22人
② 一般就労への移行者数	37人	45人			49人	56人
③ 就労移行支援事業の利用者数	81人	86人	92人	110人	129人	150人

令和2年度 施策の進行管理に対する意見（令和元年度分）

めざす成果2-1-1「高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる」

■「介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合」や「子育てに関する不安を相談できる場があると思う市民の割合」については、計画当初値自体がかなり低いと思われ、中間目標値で大きな改善がみられることを期待する。

令和3年度 施策の進行管理に対する意見（令和2年度分）

■高齢の方や障がいのある方、その家族など対象者への直接的な支援のみならず、対象者を支援している地域への支援も重要と考えます。

めざす成果2-1-1「高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる」

■各種相談窓口の情報をまとめた「生活お役立ちガイド」は市民生活の様々な場面で役立つと思われるため、市としては、より広く活用されるための方策について検討することが必要と考えます。

めざす成果2-1-2「障がいのある方が地域の中で自立した生活を送っている」

■パラリンピックの開催により、障がいのある方自身の意識に加え、障がいのある方に対する健常者の意識も変化した可能性があるため、パラリンピックの影響という視点も取り入れつつ、障がいの種類によらず自立を支援できるよう、今後の施策について再考の必要があると考えます。

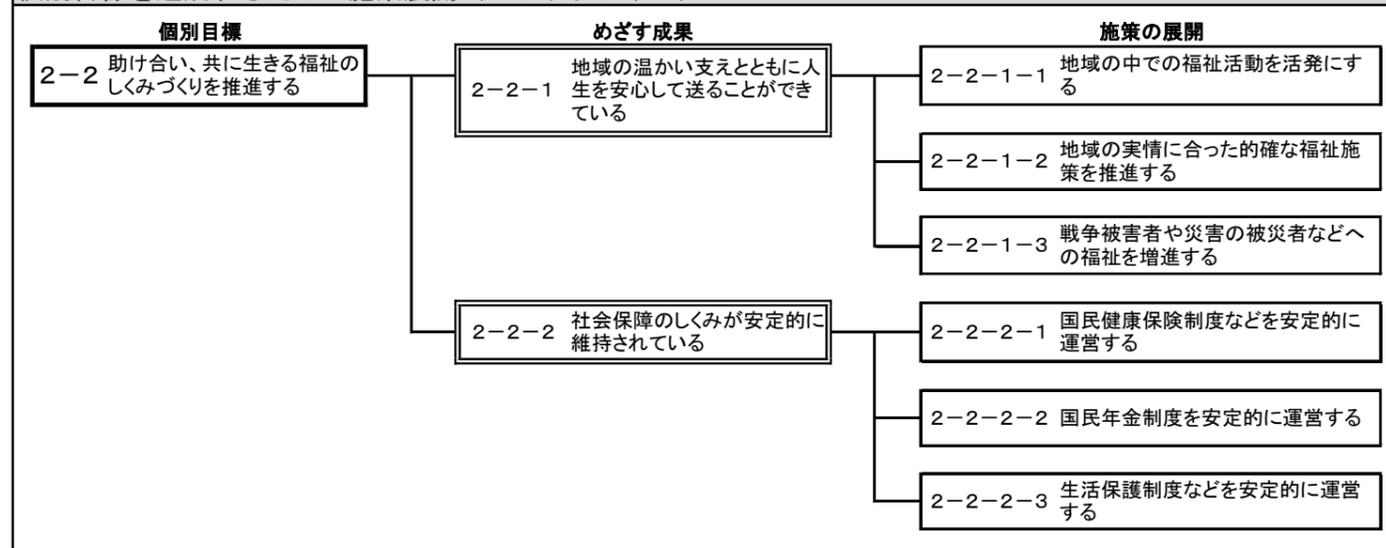
■後期基本計画の策定において、健康領域をまたぐ取り組みを検討する際には、物理的なバリアの排除といったハード面、及び誰もが障がいのある方に配慮して行動し、躊躇なく支援する意識の普及と社会啓発といったソフト面、両面からのバリアフリー化という観点も有効と考えます。

令和4年度 施策評価（二次）結果（令和元年度～3年度分）

令和4年度 施策評価（二次評価）

健康領域	人の健康	
基本目標	2	一人ひとりがささえの手を実感できるまち
個別目標	2-1	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する
	2-2	助け合い、共に生きる福祉のしくみづくりを推進する

個別目標を達成するための施策展開（ロジックツリー）



成果を計る主な指標	前期基本計画期間（R1～R5年度）					
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	実績値（R3）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
■めざす成果2-2-1						
① 地域に支え合う人のつながりがあると思う市民の割合	43.9%			38.3%	48.5%	50.0%
② 民生委員・児童委員充足率	99.3%	94.6%	95.7%	96.0%	100.0%	100.0%
③ 協議体の設置数（累計）	4箇所	5箇所	5箇所	5箇所	7箇所	8箇所
■めざす成果2-2-2						
① 国民健康保険制度における1人当たりの医療費の伸び率（対前年度）	2.0%	3.1%	-2.7%	6.4%	2.0%	2.0%
② 保護受給世帯のうち、働ける世帯（その他世帯）の割合	12.5%	10.8%	11.3%	10.7%	11.0%	10.0%

令和2年度 施策の進行管理に対する意見（令和元年度分）

めざす成果2-2-1「地域の温かい支えとともに人生を安心して送ることができる」

■「民生委員・児童委員充足率」に関して、現実的には委員の欠員が生じている。全般的に他の委員の欠員があり、現在の民生委員選考委員会では選考できず、各自治会に依頼している状況である。

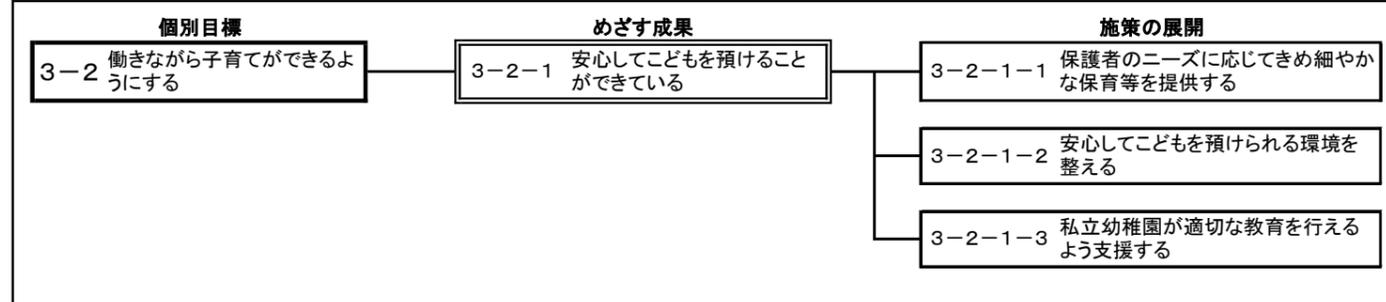
令和3年度 施策の進行管理に対する意見（令和2年度分）

令和4年度 施策評価（二次）結果（令和元年度～3年度分）

令和4年度 施策評価（二次評価）

健康領域	人の健康	
基本目標	3	こどもがすくすく成長する産み育てやすいまち
個別目標	3-1	妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する
	3-2	働きながら子育てができるようにする

個別目標を達成するための施策展開（ロジックツリー）



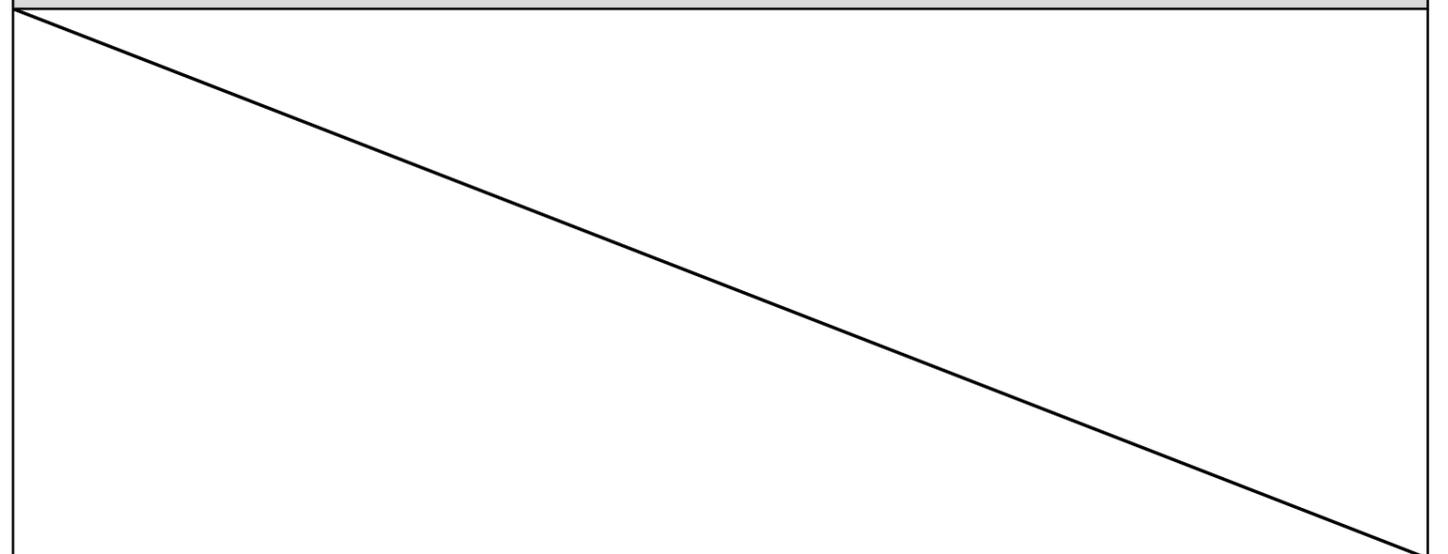
成果を計る主な指標	前期基本計画期間（R1～R5年度）					
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	実績値（R3）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
■めざす成果3-2-1						
① 保育所等の待機児童数（各年4月1日）	0人	0人	0人	0人	0人	0人
② 0歳児を預かる保育施設等におけるベビーセンサー等の設置割合	0%	100%	100%	100%	100%	100%
③ 放課後児童クラブの待機児童数（各年5月1日）	0人	0人	0人	0人	0人	0人

令和2年度 施策の進行管理に対する意見（令和元年度分）

めざす成果3-2-1「安心して子どもを預けることができる」

■子ども関連の施設は量的には充足されており、これは評価できる点であるといえるが、量的な充足が果たされた次は、質の保障の評価も実施されるべきと考える。
 ■ここ最近、市内の保育施設が増加され、また4月から「こどもの城」がオープンするなど待機児童ゼロの状況が維持されていることは望ましい成果である。今後とも同施策の推進に努めてもらいたい。

令和3年度 施策の進行管理に対する意見（令和2年度分）



令和4年度 施策評価（二次）結果（令和元年度～3年度分）

--	--	--	--	--	--	--